

藤沢市での「SDGs×アート」探究学習、3年目はウェルフェアポート湘南と連携 生徒たちが考案した補助犬啓発デザインを展示

展示期間:2025 年7月2日(水)～7月 16 日(水)

文京学院大学女子高等学校(校長:清水直樹)は、藍左師・守谷玲太氏(株式会社アートモリヤ 藤沢市)監修のもと、「サステナブル」と「アート」をキーワードに、藤沢市の環境問題や地域課題をアートで表現・発信していく実践型の探究学習を2023年から毎年実施しています。3年目を迎える今年は、補助犬の啓発を目的にアオバジャパン・インターナショナルスクール生徒と共同制作した啓発マークとグッズを展示することをお知らせします。

今年で3年目を迎える「AOBA×BUNKYO 藍 indigo project」概要

本プロジェクトは、探究活動の一環で、本校生徒および本校と教育連携を行うアオバジャパン・インターナショナルスクールの生徒との共同プログラムとして一昨年からスタートし、芸術性と持続可能性を兼ね備えた「藍」をベースとしたアート作品の制作を通して、SDGs や社会課題を考え、発信することを目的にしています。

3年目を迎えた今年は、両校から32名の生徒が参加し、「人間に寄り添う犬から考えるインクルーシブな社会」をテーマに、特定非営利活動法人ウェルフェアポート湘南(神奈川介助犬聴導犬協会)と連携し、藤沢市での補助犬に関する取り組み事例についての講義・実地研修を実施してきました。そして、さまざまな役割を果たす「犬」を起点にインクルーシブな社会の在り方を考え、藤沢市在住の藍左師・守谷氏監修のもと、藍染めの表現技法を学びながら、藍を使って補助犬啓発マークをデジタルでデザインしました。



藤沢市での実地研修で犬と触れ合う生徒たち

今回のプロジェクトで、8つのグループに分かれた生徒たちにより制作された作品は、介助犬を引退した犬がいるカフェ「Terrace-TiPi」(藤沢市)で展示を行います。補助犬啓発マークのデザインと、それを象ったキーホルダーやシール等のグッズ、制作過程をドキュメンタリー形式でまとめたフォトアルバムが展示されるとともに、全8グループのデザインをまとめて紹介するリーフレットの配布も行います。

「Terrace-TiPi」(藤沢市)とのコラボ展示企画 実施概要

- 実施期間:2025 年7月2日(水)～7月16日(水)
- 実施場所:「Terrace-TiPi」神奈川県藤沢市鵠沼橋1-7-2-5
※店舗HP:<https://www.terrace-tipi.com/>
- 営業時間:昼の部 11:30～15:00 (L.O 14:30)
夜の部 18:30～22:00 (L.O 21:30)
- 定休日:月曜・火曜
※臨時休業等はお店HPやSNSでご確認ください。
- 展示作品:①補助犬啓発マークデザイン(全8テーマ・デザイン)
A『心で繋がる』B『共に歩む、共に生きる』
C『補助犬も大切なパートナー』D『ESD』
E『人と寄り添う犬』F『愛染め犬』
G『MKCE』H『僕に気づいてワン』
②啓発グッズ(キーホルダーやシール)
③ドキュメンタリーフォトアルバム
④デザイン紹介リーフレット(持ち帰り可)
※無くなり次第、終了となります。



全8テーマの啓発マークデザイン